

2026年8月3日

関係機関長 殿

学校法人 酪農学園
理事長 高島 英也
[公印省略]

酪農学園大学農食環境学群循環農学類専任教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当学園の酪農学園大学農食環境学群循環農学類では、下記の要領で専任教員の公募を行うことになりました。

本学は「神を愛し、人を愛し、土を愛する三愛精神」、「健土健民」および「実学教育」を建学の柱とするキリスト教主義大学であり、この理念に基づいた教育ならびに研究活動に理解を示し、農学とその関連科学の教育・研究により農畜産業の持続的発展と自然環境の保全並びに農食文化の進展に貢献する熱意のある方の応募を希望しています。

つきましては、貴関係諸機関への周知方並びに適任者の推薦及び公募について、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。なお、本学は男女雇用の均等化を推進致しております。

謹白

記

1. 専門分野 「家畜栄養学」

2. 担当予定科目

(1) 2025年度入学までの旧カリキュラム

家畜栄養学（分担）、乳用家畜飼養学（分担）、肉用大家畜飼養学（分担）、肉用中小家畜飼養学（分担）、畜産学総論（分担）、家畜管理・栄養学実験（分担）、乳用家畜飼養学実習（分担）、肉用家畜飼養学実習（分担）

(2) 2026年度入学からの現カリキュラム

動物の栄養学、乳用家畜学（分担）、農と食の関係学（分担）、家畜栄養・生産学実習（分担）、健土健民・農食環境学入門実習（分担）、基礎演習、循環農学類演習Ⅰ・Ⅱ、専門ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、研究発表など

※共通教育科目のうち、担当可能な科目（自然科学教育、分担を含む）を担当することがある。また、カリキュラム改訂に伴い、変更もありうる。

※大学院酪農学研究科において、修士・博士課程での関連分野科目の講義・演習・特別研究指導などを担当することがある。

※上記のほか、入試業務、学生指導業務、普及活動支援業務、その他各種委員等を担当することがある。

3. 職名・人数

准教授または講師 1名

4. 採用予定日

2027年4月1日

5. 応募資格

- (1) 酪農学園の建学の精神に賛同し、協働できる方
- (2) 博士の学位を有する方、または着任後1年以内に博士の学位を取得見込みの方
- (3) 家畜栄養学の立場から、生産現場における教育、研究を積極的に遂行できる専門知識を有する方
- (4) 家畜全般（大家畜および中小家畜）において、当該専門分野の教育（実習を含む）ができる方
- (5) ウマの飼養管理経験と研究業績があり、今後、ウマに関わる教育研究を展開できる方
- (6) 本学フィールド教育研究センターでの活動や運営に積極的に関われる方
- (7) 教育と研究に熱意と意欲があり、担当授業科目分野の研究業績を有し、循環型農業に理解のある方で、生産現場と連携の中でフィールドを中心とした研究とエクステンション活動を推進できる方

6. 応募期限

2026年9月18日（金）必着

7. 提出書類（各1部）

- (1) 履歴書（A4判 本学様式第1号）
- (2) 研究業績目録（A4判 本学様式第2号）
著書および総説、学術論文、学位論文、その他報文、口頭（学会）発表、受賞・特許等、その他（主要な学術研究費の交付等）のリスト
※上記(1)、(2)は本学ホームページに掲載したものをダウンロードして使用下さい。
URL：<http://www.rakuno.ac.jp/>「お知らせ」の該当募集案内
- (3) 主要研究業績（著書もしくは論文）3点（別刷またはコピーでも可）、およびその3点の各業績について A4判 400 字程度の要約
- (4) 博士の学位を有する方は、学位記の複写物
- (5) 博士の学位を取得予定の方は、その旨を記載した指導教員の所見（様式任意）
- (6) 家畜の栄養に関する実務経験の内容（セミナー、技術指導等含む）と、着任後の生産現場での教育、研究に対する抱負（A4判 2,000 字以内にまとめたもの）
- (7) 推薦書（推薦書が得られる場合はA4判用紙にて添付のこと。様式任意）

8. 応募書類の作成について

- (1) 履歴書（A4判、横書き、本学様式第1号）
 - ① 高等学校以降の学歴、職歴、教育歴、取得学位、所属学会、E-mail アドレス、日中の連絡先・電話番号（携帯電話等）を記載し、写真添付、年号は西暦表記、自筆署名・押印のこと。
 - ② 学歴は高校卒業時より記入する。外国における留学、研究歴を記入する場合は 6 ヶ月以上の滞在とする。
 - ③ 学位は授与年月、学位名、授与された大学名、論文題名を記入する。

- ④ 職歴、教育歴は職名、所属機関名を明記する。
- ⑤ 所属学会（会員、役員などの区別）、関連資格および社会において関連する業務・プロジェクトに参加した場合については、その活動なども記入する。

(2) 研究業績目録（A4判、横書き、本学様式第2号）

次の区分に従って、年代の新しいものから順に番号を付して記入する。年号は西暦表記とする。

- ① 著書および総説：単著と共著を区別し、共著の場合は分担分を記入する。著者名、書名（分担の場合は執筆部分の章、節などの題目、開始と最終ページ）、出版社、発行年。
- ② 学術論文：レフリー制度のある雑誌の掲載論文。著者名（全著者）、題名、誌名、巻、開始と最終ページ、発行年。
- ③ 学位論文：題名、報告年、報告番号、学位授与年月日。
- ④ その他報文：大学の紀要・学術報告、研究会報告、試験場報告、業界雑誌、シンポジウムなどの掲載論文、翻訳出版物。①、②に準じて記載する。
- ⑤ 口頭（学会）発表：学会あるいはシンポジウム名、題名、開催地、開催年。
- ⑥ 受賞、特許等：受賞名、受賞年、授与者、団体名、特許取得状況などを記載する。
- ⑦ その他（主要な学術研究費の交付他）：研究課題、交付年度、交付機関名および代表・分担の区別を記載する。

9. 応募書類提出先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

学校法人酪農学園 事務局総務課

担当：総務課長・渡辺 篤志

電話：011-388-4111（ext6110）

E-mail：watanabe@rakuno.ac.jp

※ 応募書類は（簡易）書留便として「家畜栄養学教員応募書類在中」と朱書きして下さい。

10. 職務内容の照会先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

酪農学園大学農食環境学群循環農学類

担当教員：学類長・澤本 卓治

電話：011-388-4881

E-mail：sawataku@rakuno.ac.jp

11. その他

- (1) 応募書類は本募集に必要な範囲でのみ利用します。また、提出された書類は返却いたしませんので、ご了承下さい。
- (2) 給与等は、本学の給与規定によります。
- (3) 必要に応じて、最終面接とは別にプレゼンテーションを行っていただく場合があります。
- (4) 選考に係るプレゼンテーション・面接の旅費は各自のご負担となります。

※spam-mail 対策のため、前記の E-mail アドレスは「@を大文字」で表示しています。

以上